

## 県内景気動向調査(2016年7-9月実績、10-12月見通し) — 県内景気は緩やかに拡大している —

株式会社海邦総研(代表取締役社長:親川秀光)では、このたび、県内景気動向調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

### 【全体概要】

#### ■ 現状判断と見通し

県内の各種経済指標や海外需要の活発さなどを背景に、県内景気は好調となっており、今期(7-9月期)の県内企業の景況判断 BSI は 23.5 と「上昇」超となっていることなどから、「県内景気は緩やかに拡大している」。

来期(10-12月期)の見通しとしては、県内、県外、海外需要への期待などから、景気は引き続き緩やかな拡大が続くと見込まれる。ただ、人手不足が各企業において深刻な課題となっていることから今後の行方を注視する必要がある。

### 【業種別概要】

#### ■ 観光関連 [ 観光関連は好調、海外市場はターゲットにより明暗が分かれる ]

- 観光客が増加していることから、全体的に好調となっている。外国客においては、団体旅行に対するニーズが減少し、個人旅行へシフトしている状況。ただ、業界の活況に伴い人手不足といった問題も挙がっている。

#### ■ 建設・不動産関連 [ 官需、民需ともに好調が持続している ]

- 官需は好調が持続。民需では、マンション販売で新築・中古ともに依然、好調な状況が続いている。アパートは建設需要だけでなく、投資物件として活発に売買しているケースも見られる。一方、進出してきた本土事業者との競争激化を懸念する声もある。

#### ■ 食品・消費・サービス関連 [ 個人消費は観光客増に支えられ好調 ]

- 外国人観光客等の海外需要を中心に県内客、県外客の需要も好調に推移した。特に飲食サービス業の多くの事業所において、外国人観光客の恩恵を受けている。ただ、安定的な事業経営に向けては人材確保がカギとなりそうだ。

### 【資本金別・地域別概要】

#### ■ 資本金別・現状判断と見通し

- 今期の景況判断 BSI は、すべてのカテゴリーにおいて「上昇」超となっている。特に1億円以上の企業の BSI は 40.0 と最も高くなっている。
- 来期(10-12月期)については、全てのカテゴリーで「上昇」が「下降」を上回っている。

#### ■ 地域別・現状判断と見通し

- 今期の景況判断 BSI は、すべての地域で「上昇」超となっている。最も BSI が高い地域は離島地区で 35.1 となっている。
- 来期(10-12月期)の見通しとしては、すべての地域で「上昇」超となっている。

#### 《本調査の問い合わせ先》

株式会社 海邦総研 (担当:地域経済調査部 島田、瀬川)  
〒900-0015 那覇市久茂地 2-9-12-4F TEL:098-869-8703

## 1 県内企業景況調査結果概要

### (1) 県内企業の景況判断 BSI

#### ■ 現状と見通し

- 実績(2016年7-9月期)
  - 全業種の景況判断 BSI(実績)は、23.5 と「上昇」超
- 見通し(2016年10-12月期)
  - 全業種の景況判断 BSI(見通し)は、17.2 と「上昇」超

#### ■ 業種別結果

- 実績(2016年7-9月期)
  - すべての業種で「上昇」超
- 見通し(2016年10-12月期)
  - 不動産業等(-4.2)を除いて、それ以外の業種で「上昇」超の見通しとなっている

#### ■ 企業の景況判断 BSI (前期比「上昇」 - 「下降」社数構成比)

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
全業種 BSI		-3.0	19.5	23.5	17.2
建設業		-5.4	29.7	18.2	30.3
製造業		-7.7	23.1	2.7	29.7
情報通信業		-5.9	11.8	28.6	35.7
卸売・小売業		-23.6	5.6	22.2	12.7
不動産業等		26.7	6.7	12.5	-4.2
旅行・宿泊業		-3.0	42.4	53.3	6.7
飲食サービス業		-4.0	40.0	26.3	21.1
医療・福祉		4.3	0.0	8.3	25.0
その他のサービス業		7.1	22.9	27.9	14.7
資本金別	1,000万円未満	0.0	19.8	27.1	6.8
	1,000万円以上5,000万円未満	-5.7	18.9	22.5	23.2
	5,000万円以上1億円未満	-5.9	35.3	25.6	23.3
	1億円以上	2.5	7.5	40.0	25.0
従業員数別	10人未満	-2.7	15.1	7.8	0.0
	10人以上20人未満	3.8	28.3	32.0	14.0
	20人以上50人未満	-12.1	13.2	25.9	24.7
	50人以上100人未満	-1.9	28.3	25.5	34.0
	100人以上	6.7	24.4	32.6	18.6
地域別	本島北部地区	-5.6	13.9	25.0	3.6
	本島中部地区	4.7	19.8	21.2	15.9
	本島南部地区	-4.5	27.3	12.2	41.5
	那覇地区	-13.7	21.1	27.8	20.3
	離島地区	4.4	15.6	35.1	0.0

## (2) 調査概要および調査対象について

沖縄県内景況や、企業経営の実態と見通しを把握し、今後の各企業の経営の参考情報として提供することを目的とする。調査対象は、原則、県内に本社事業所があり、従業員5人以上の県内事業所。調査票発送先事業所の抽出にあたっては、業種別、地域別で経済センサス基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して事業所を選定した。

調査の対象、調査方法、回収率等は以下のとおり。

### 調査概要

項目	内容
調査対象	原則、県内に本社所在地があり、従業員5人以上の事業所。 2,000事業所に発送した。 ただ、調査対象有効事業所数は、宛先不明として返送されてきた4事業所を除いた1,996事業所。
抽出方法	信用調査会社から提供を受けた。その際、業種、地域については、経済センサス調査基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して抽出した。そのほか、各種公開情報等を参考にして発送先を選定した。
調査方法	郵送により調査票を配布・回収
調査期間	2016年9月1日に調査票を発送し、9月26日到着分までを集計
回収状況	有効回収数：302通（有効回答率：15.1%） ※回答率は、有効調査対象事業所数1,996事業所を基に算出

弊社が取りまとめた、県内企業の各種BSI(Business Survey Index)の算出方法は、以下のとおりである。

$$BSI = (\text{「上昇」と回答した企業構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業構成比})$$

なお、BSIは景気の現状や先行きを「上昇」・「下降」といった前期と変化した方向で判断する指標である。BSIがプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、BSIがマイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。

また、本調査は、従業員規模として5人以上の事業所を対象として実施した。比較的、小規模事業所までも網羅した調査となっている点が特徴である。

- ※ 本文中における、カッコ内( )の数値は単位が特に記載されていない場合は、その業種、分野のBSIを示す。
- ※ なお、調査結果について、回答した割合を小数第一位で四捨五入しているため、各項目の合計が100%にならない場合がある。
- ※ 複数回答の場合は、構成比(パーセント計算)の和が100.0をこえるものがある。
- ※ 統計表において(n= )のイコール(=)のあとの数値はサンプル数を表す。

### (3)主要調査結果

#### 回答企業属性

- 回答企業総数は302社。その他のサービス業22.5%(68社)、卸売・小売業20.9%(63社)、製造業12.3%(37社)、建設業10.9%(33社)、旅行・宿泊業9.9%(30社)、不動産業等7.9%(24社)となっている。
- 従業員数別では、20人以上50人未満が最も多く81社(26.8%)となっている。100人未満の企業で8割以上を占めている。
- 資本金別では、1,000万円以上5,000万円未満の企業が142社(47.0%)となっている。

#### ■ 業種

項目	合計 (n=302)
建設業	10.9
製造業	12.3
情報通信業	4.6
卸売・小売業	20.9
不動産業等	7.9
旅行・宿泊業	9.9
飲食サービス業	6.3
医療・福祉	4.0
その他のサービス業	22.5

#### ■ 従業員数

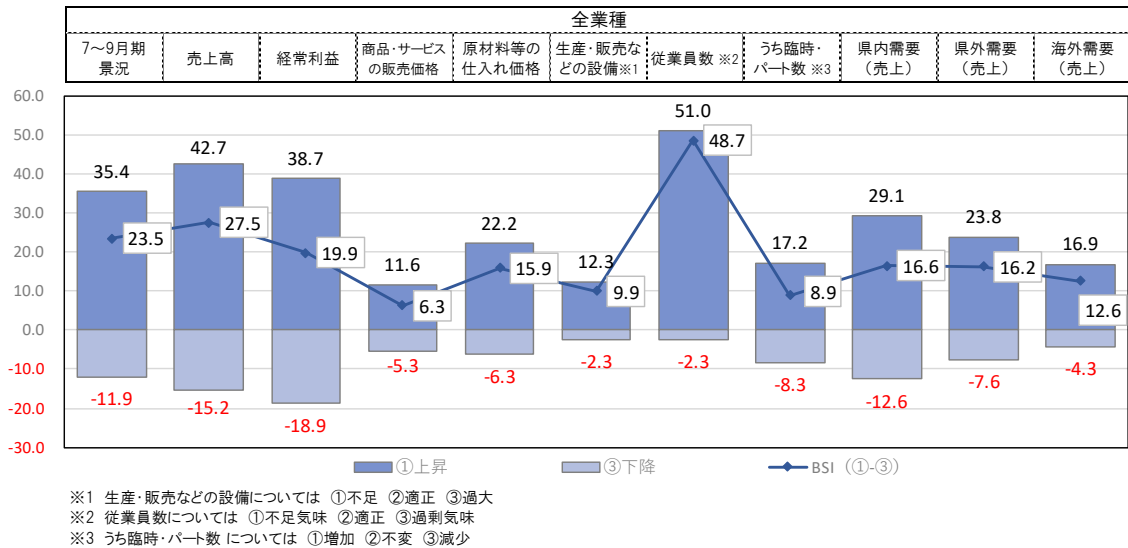
項目	合計 (n=302)
10人未満	21.2
10人以上20人未満	16.6
20人以上50人未満	26.8
50人以上100人未満	15.6
100人以上	14.2
不明	5.6

#### ■ 資本金

項目	合計 (n=302)
1000万円未満	19.5
1,000万円以上5,000万円未満	47.0
5,000万円以上1億円未満	14.2
1億円以上	13.2
不明	6.0

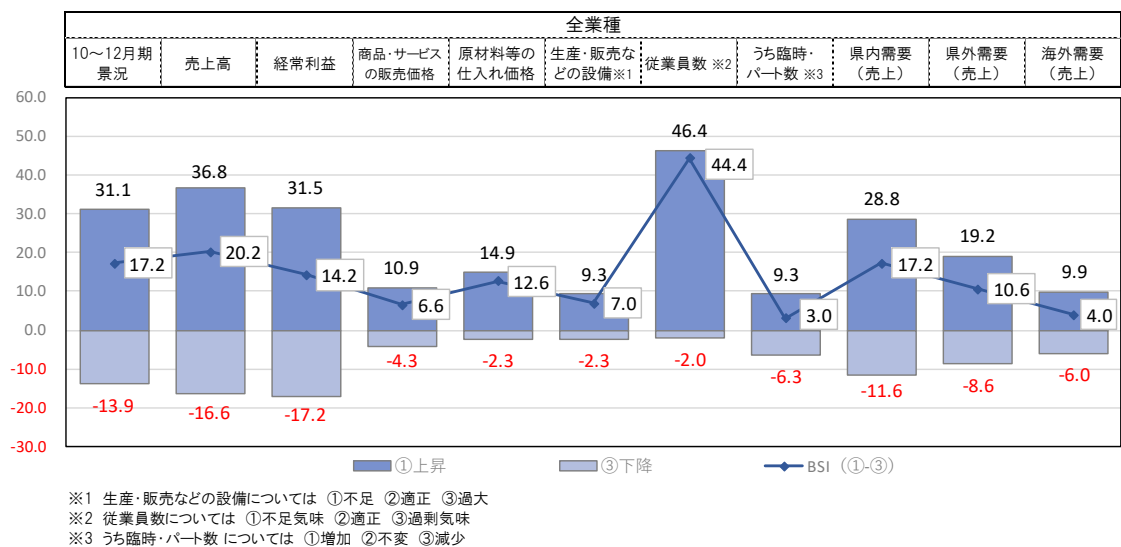
■ 7-9月期の現状(4-6月比較)BSI 全業種

- 7-9月期景況 BSI は 23.5 で、「上昇」超となっている。全ての項目において、「上昇」超となっている。
- 従業員数(48.7)は大幅に「不足気味」超となっている。
- 県内需要(16.6)、県外需要(16.2)、海外需要(12.6)ともに好調となっている。



■ 10-12月期の見通し(7-9月比較)BSI 全業種

- 10-12月期景況見通しは 17.2 で、「上昇」超となっている。全ての項目において、「上昇」超となっている。
- 従業員数(44.4)は「不足気味」超が続く見通しとなっている。原材料等の仕入れ価格(12.6)も「上昇」超の見通しとなっている。
- 県内需要(17.2)、県外需要(10.6)、海外需要(4.0)ともに「上昇」超の見通しとなっている。



■ 7-9月期の景況実績について(4-6月期との比較)

- 「上昇」との回答は 35.4% (107 社)。一方、「下降」との回答は 11.9% (36 社)。「変わらない」は 51.0% (154 社)。「上昇」から「下降」を差し引いた景況判断 BSI は 23.5 である。
- 上昇した要因としては、県内、県外、海外需要の動向が上位となっている。
- 下降した要因としては、県内需要の動向、仕入れ価格の動向、販売価格の動向が上位となっている。

7-9月期の上昇要因 …… 県内需要の動向 64.5%

7~9月期の景況: 上昇要因

項目	合計 (n=107)
県内需要(売上)の動向	64.5
県外需要(売上)の動向	50.5
海外需要(売上)の動向	32.7
販売価格の動向	15.9
仕入れ価格の動向	9.3
資金繰り・資金調達の動向	4.7
仕入れ以外のコストの動向	3.7
為替レートの動向	1.9
株式・不動産等の資産価格の動向	0.0
その他	8.4
不明	0.9

7~9月期の景況: 下降要因

項目	合計 (n=36)
県内需要(売上)の動向	61.1
仕入れ価格の動向	30.6
販売価格の動向	27.8
県外需要(売上)の動向	19.4
仕入れ以外のコストの動向	13.9
海外需要(売上)の動向	11.1
資金繰り・資金調達の動向	8.3
為替レートの動向	2.8
株式・不動産等の資産価格の動向	0.0
その他	16.7
不明	0.0

■ 10-12月期の景況見通しについて(7-9月期との比較)

- 「上昇」との回答は31.1%(94社)。一方、「下降」との回答は13.9%(42社)。「変わらない」は45.0%(136社)。「上昇」から「下降」を差し引いた景況判断 BSI は17.2である。
- 上昇見通しの要因としては、県内、県外、海外需要の動向が上位となっている。
- 下降見通しの要因も同様に、県内、県外、海外需要の動向が上位となっている。

10-12月期見通しの上昇要因 …… 県内需要の動向 72.3%

10~12月期の景況見通し: 上昇要因

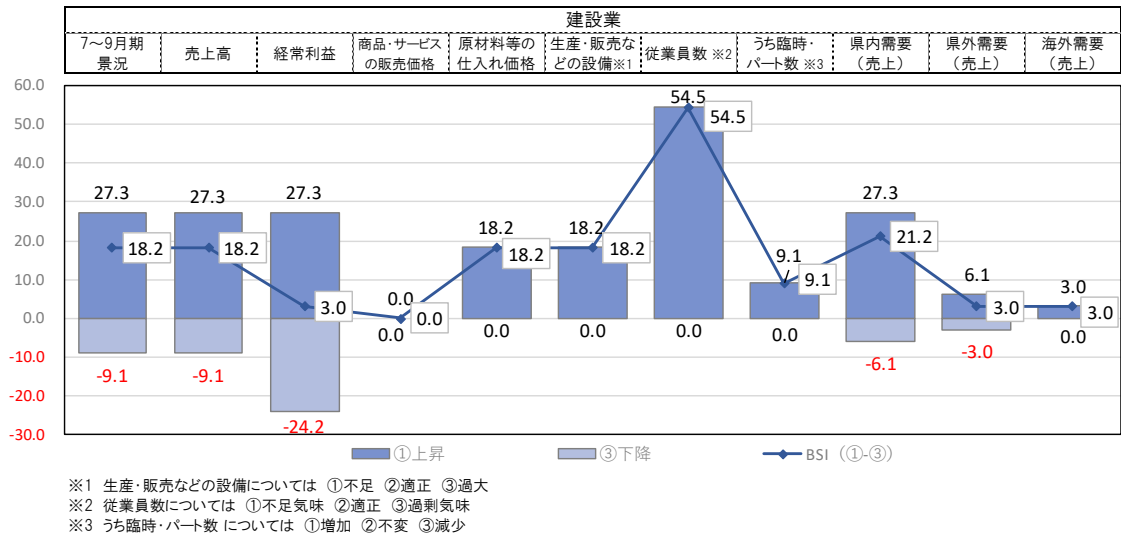
項目	合計 (n=94)
県内需要(売上)の動向	72.3
県外需要(売上)の動向	43.6
海外需要(売上)の動向	19.1
販売価格の動向	14.9
仕入れ価格の動向	13.8
資金繰り・資金調達の動向	5.3
仕入れ以外のコストの動向	4.3
為替レートの動向	3.2
株式・不動産等の資産価格の動向	1.1
その他	4.3
不明	1.1

10~12月期の景況見通し: 下降要因

項目	合計 (n=42)
県内需要(売上)の動向	57.1
県外需要(売上)の動向	54.8
海外需要(売上)の動向	28.6
販売価格の動向	16.7
仕入れ価格の動向	16.7
仕入れ以外のコストの動向	7.1
資金繰り・資金調達の動向	4.8
為替レートの動向	2.4
株式・不動産等の資産価格の動向	0.0
その他	9.5
不明	0.0

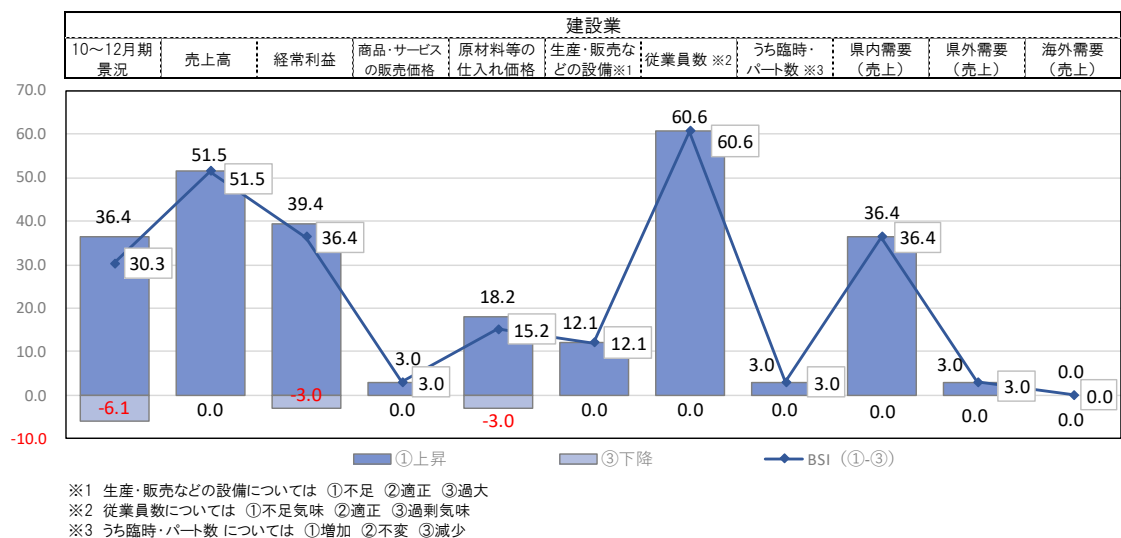
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 建設業

- 7-9月期の景況は18.2で、「上昇」超となっている。「下降」超の回答項目はなかった。ほとんどの項目において「上昇」超となっている。
- 従業員数(54.5)は「不足気味」が大きく上回っている。
- 「上昇」超幅が大きかったのは、県内需要(21.2)、売上高(18.2)、原材料等の仕入れ価格(18.2)、生産・販売などの設備(18.2)となっている。



■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 建設業

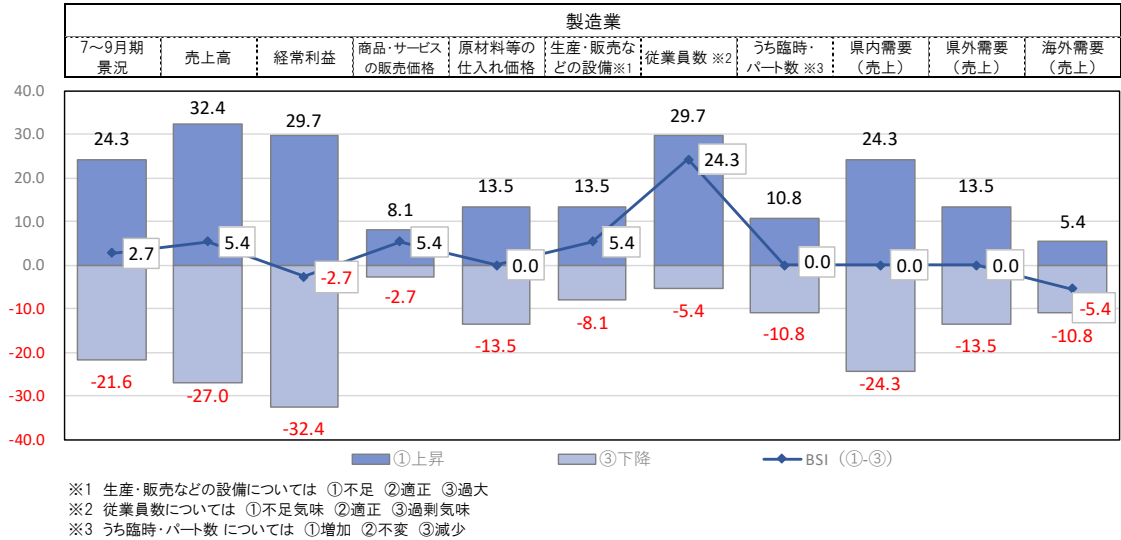
- 10-12月期の景況見通しは30.3で「上昇」超となっている。「下降」超の回答項目はなかった。ほとんどの項目において「上昇」超となる見通しとなっている。
- 従業員数(60.6)は「不足気味」超が続くとの見通しとなっている。原材料等の仕入れ価格(15.2)も「上昇」超の見通しとなっている。
- 売上高(51.5)、経常利益(36.4)、県内需要(36.4)の「上昇」超幅が大きい。





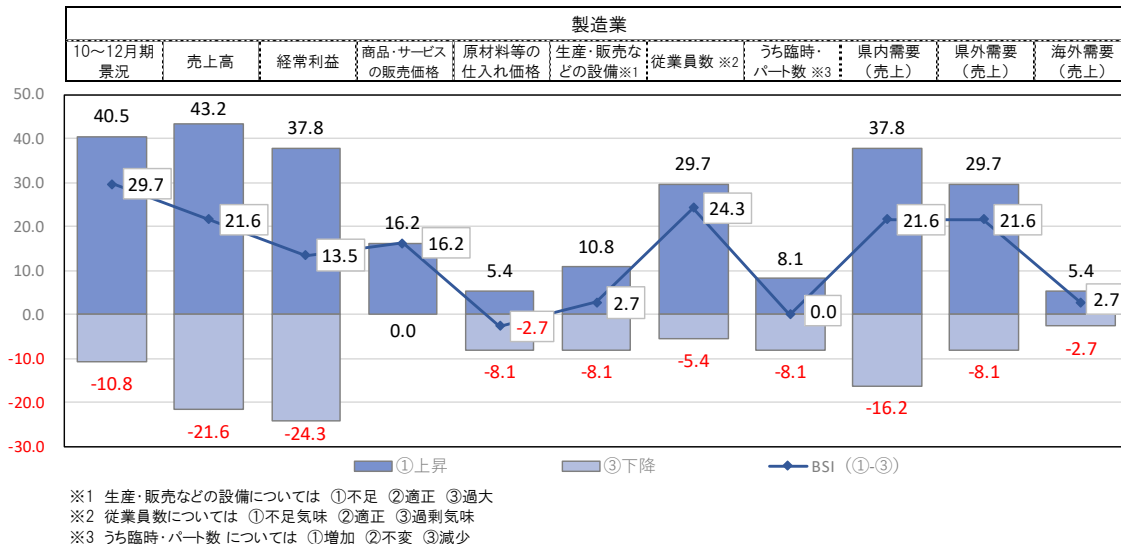
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 製造業

- 7-9月期の景況は2.7で、「上昇」超となっている。売上高(5.4)は「上昇」超だが、経常利益(-2.7)は「下降」超となっている。
- 従業員数(24.3)は「不足気味」超となっている。



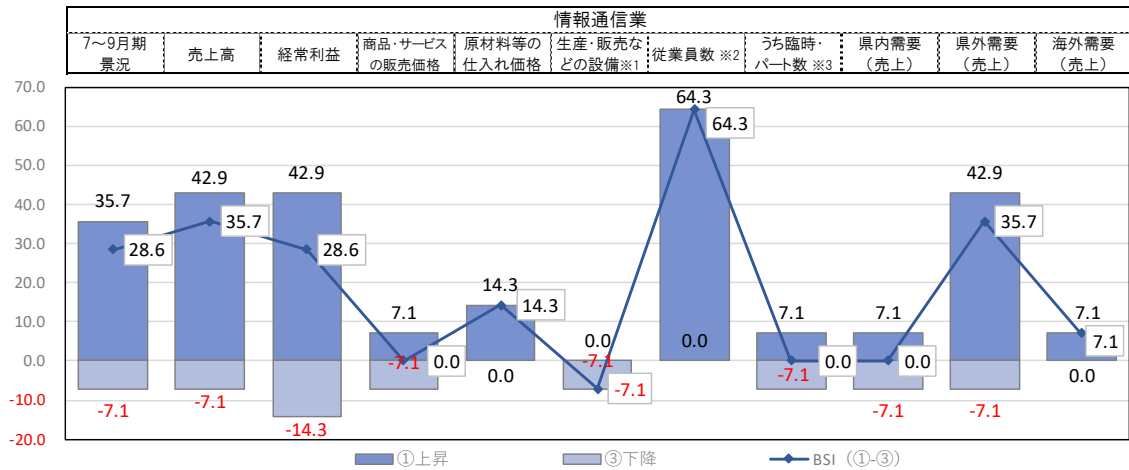
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 製造業

- 10-12月期の景況見通しは29.7で、「上昇」超となっている。特に売上高(21.6)、経常利益(13.5)は「上昇」が「下降」を上回る見通しとなっている。
- 従業員数(24.3)は「不足気味」超との見通しとなっている。
- 県内需要(21.6)、県外需要(21.6)、海外需要(2.7)ともに「上昇」超の見通しとなっている。



■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 情報通信業

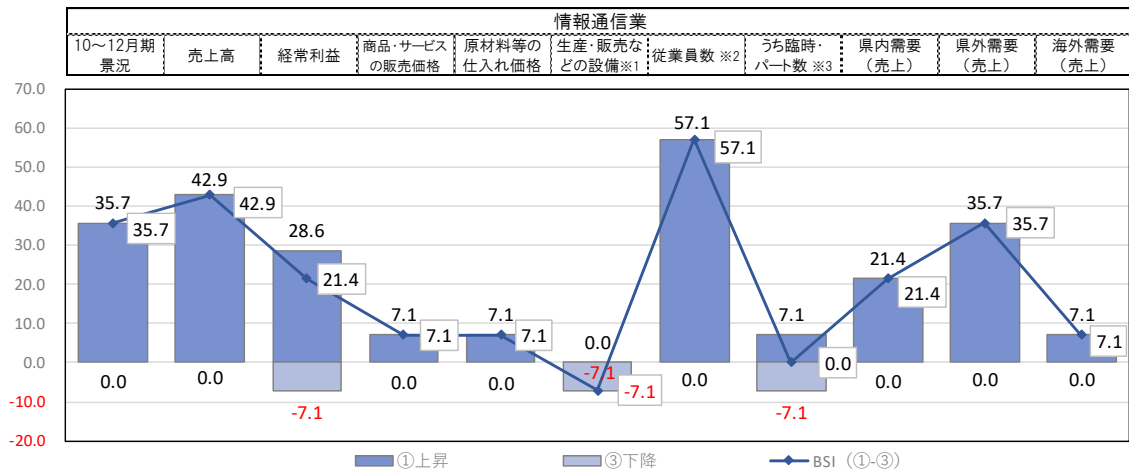
- 7-9月期の景況は28.6で、「上昇」超となっている。売上高(35.7)、経常利益(28.6)ともに大きく「上昇」超となっている。要因としては、県外需要(35.7)の好調さが起因しているとみられる。
- ただ、従業員数(64.3)は「不足気味」が大きく上回っている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大  
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味  
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 情報通信業

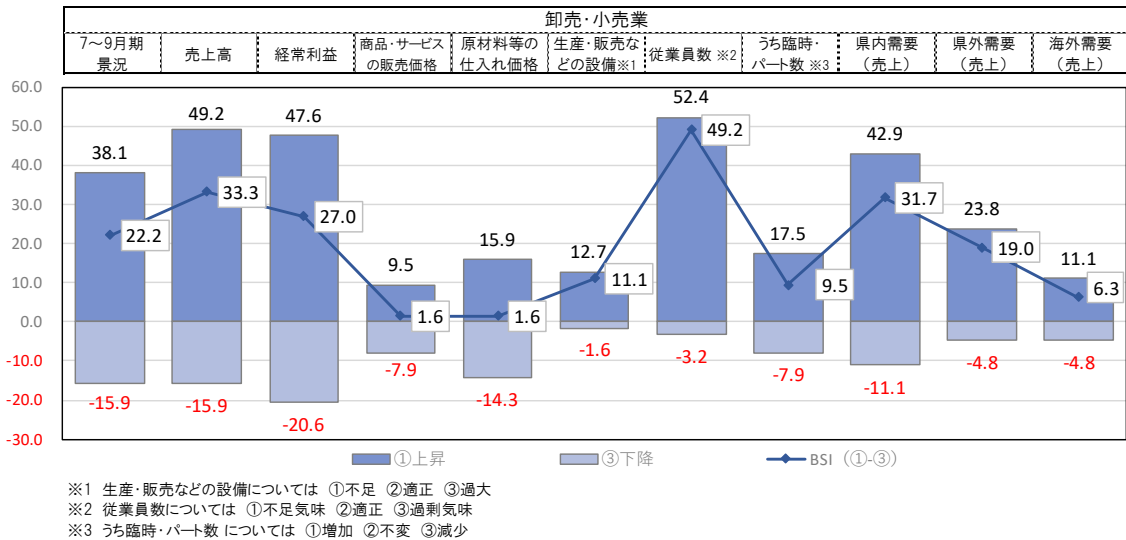
- 10-12月期の景況見通しは35.7で、「上昇」超となっている。売上高(42.9)、経常利益(21.4)はそれぞれ「上昇」の見通しとなっている。県外需要(35.7)を中心に「上昇」超の見通しとなっている。
- 一方、従業員数(57.1)は「不足気味」が引き続き大きく上回る見通しとなっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大  
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味  
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

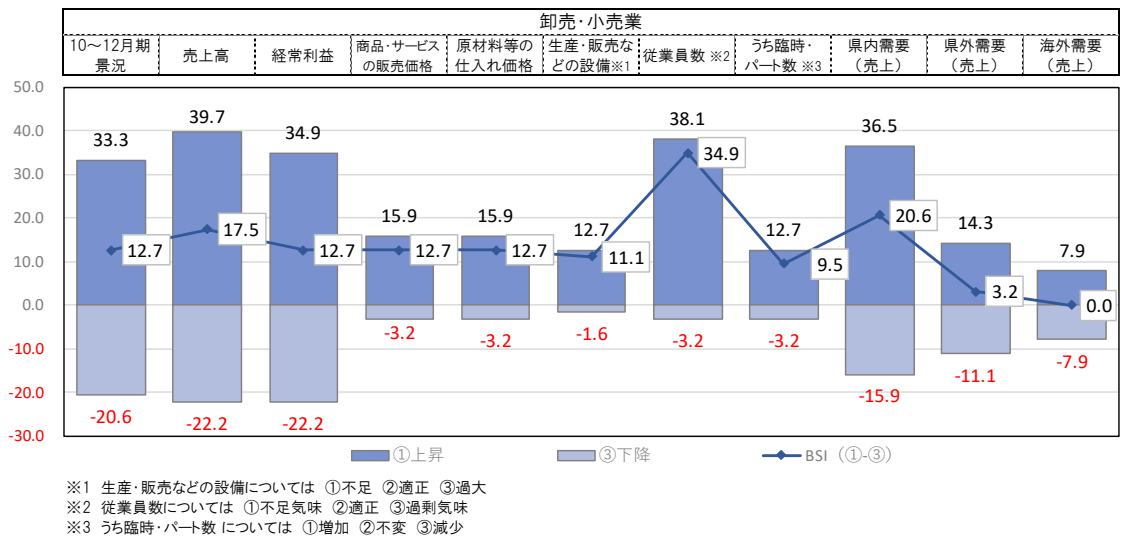
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 卸売・小売業

- 7-9月期の景況は22.2となっており、「上昇」超となっている。売上高(33.3)、経常利益(27.0)ともに「上昇」超となっている。県内需要(31.7)、県外需要(19.0)、海外需要(6.3)がそれぞれ好調で景況を押し上げたとみられる。
- 従業員数(49.2)は大きく「不足気味」超となっている。



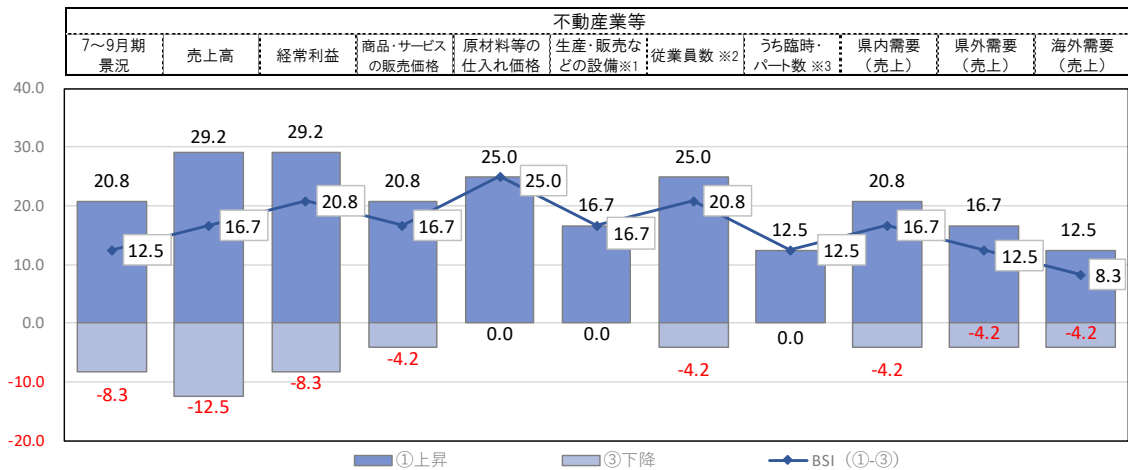
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 卸売・小売業

- 10-12月期の景況見通しは12.7で、「上昇」超となっている。ほとんどの項目において、「上昇」超となる見通しである。
- 原材料等の仕入れ価格(12.7)も「上昇」超の見通しとなっている。従業員数(34.9)も「不足気味」超が続くとの見通しとなっている。



■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 不動産業等

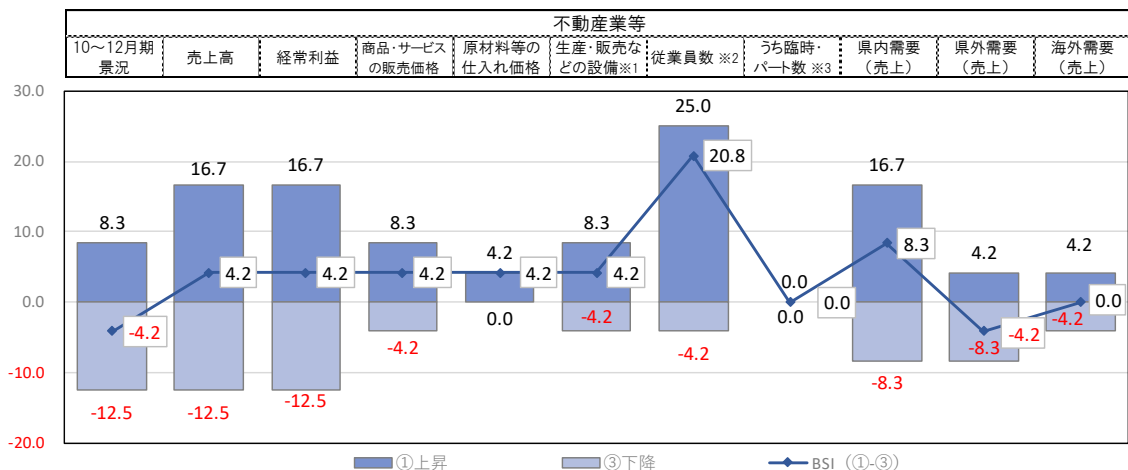
- 7-9月期の景況は12.5で「上昇」超となっている。売上高(16.7)、経常利益(20.8)ともに「上昇」超となっている。
- 原材料等の仕入れ価格(25.0)が大きく「上昇」超となっており、従業員数(20.8)も「上昇」超幅が大きい。
- 商品・サービスの販売価格(16.7)、県内需要(16.7)、県外需要(12.5)もそれぞれ「上昇」超となっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大  
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味  
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 不動産業等

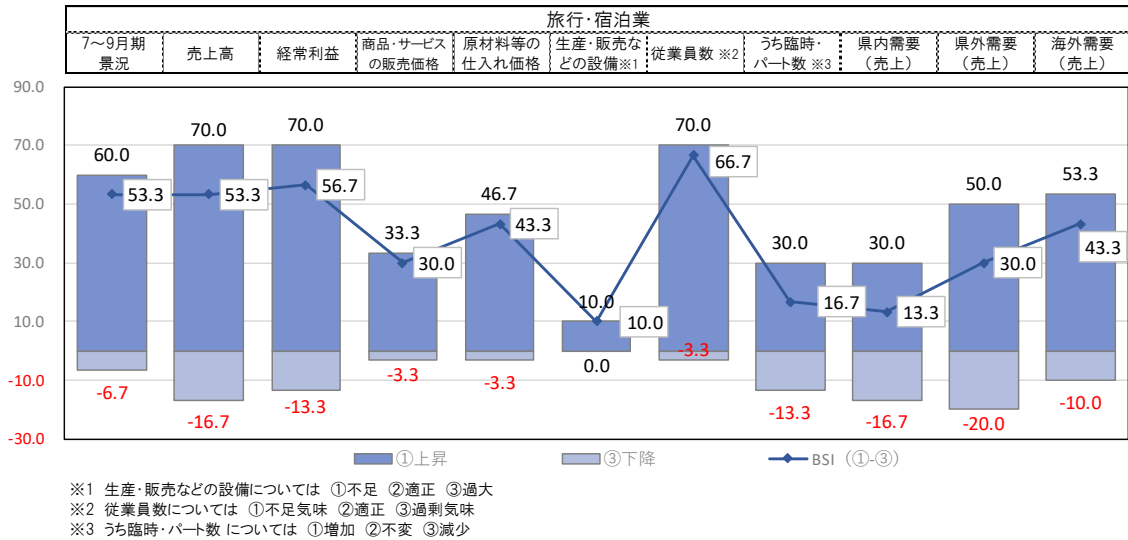
- 10-12月期の景況見通しは-4.2で、「下降」超となっている。
- 県外需要が-4.2となっており、県外需要の減退が懸念されている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大  
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味  
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

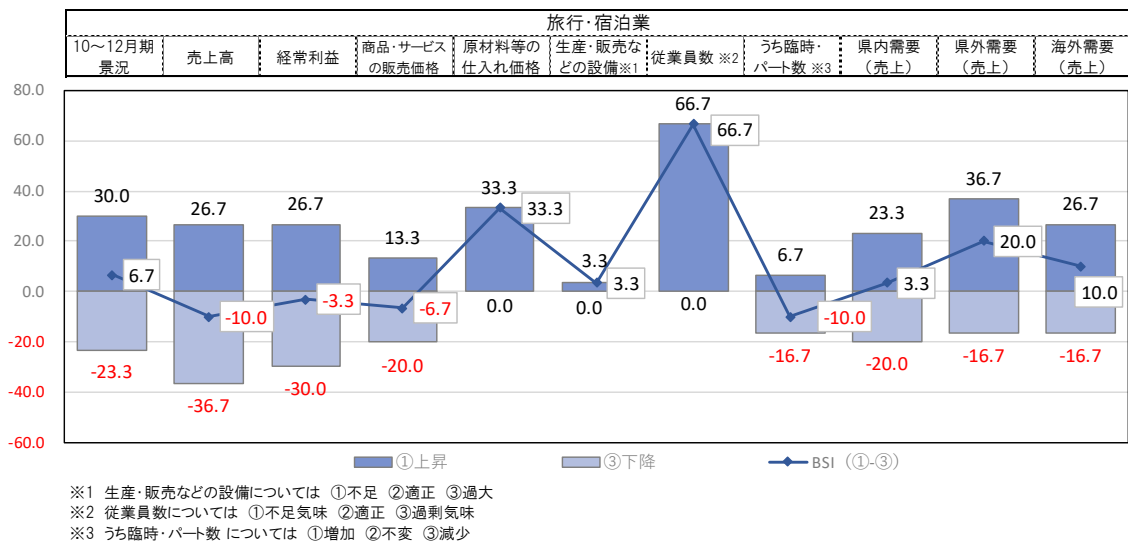
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 旅行・宿泊業

- 7-9月期の景況は53.3で、大きく「上昇」超となっている。売上高(53.3)、経常利益(56.7)もそれぞれ大幅な「上昇」超となっている。
- 従業員数(66.7)は「不足気味」超が大きく上回っている。
- 商品・サービスの販売価格(30.0)も「上昇」超。そのほか海外需要(43.3)が大幅な「上昇」超。県内需要(13.3)、県外需要(30.0)も好調となっている。



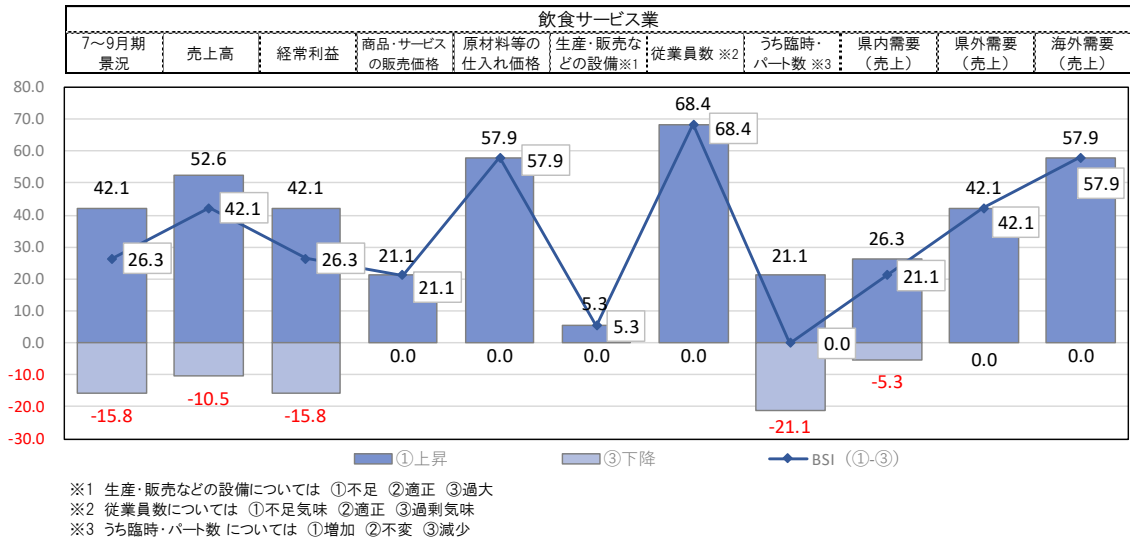
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 旅行・宿泊業

- 10-12月期の景況見通しは6.7で「上昇」超となっている。ただ、売上高(-10.0)、経常利益(-3.3)となっている。
- 従業員数(66.7)は大幅に「不足気味」超が続くとの見通しとなっている。
- 県内需要(3.3)、県外需要(20.0)、海外需要(10.0)ともに「上昇」超の見通しとなっている。



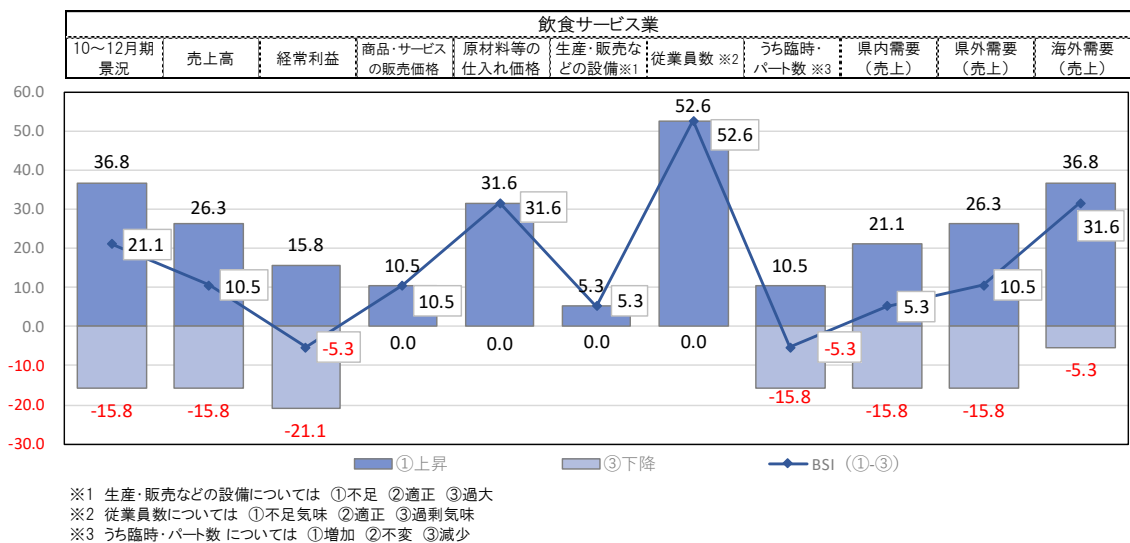
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 飲食サービス業

- 7-9月期の景況は26.3で、「上昇」超となっている。売上高(42.1)、経常利益(26.3)ともに「上昇」超となっている。要因としては、需要の好調さがあげられる。特に海外需要(57.9)は大幅な「上昇」超となっている。
- 一方、従業員数(68.4)は大幅な「不足気味」超であり、原材料等の仕入れ価格(57.9)も「上昇」超となっている。



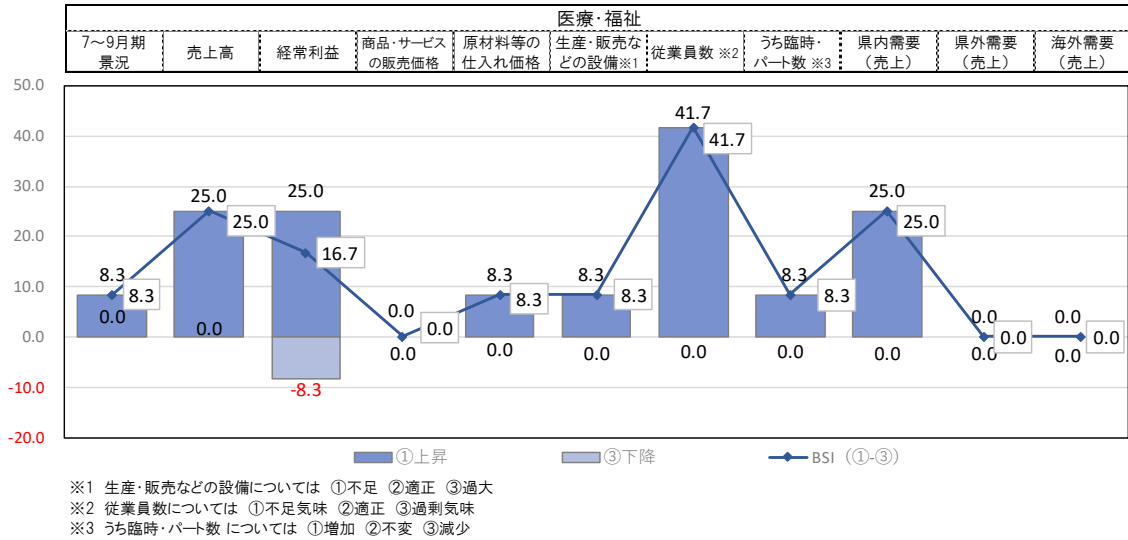
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 飲食サービス業

- 10-12月期の景況見通しは21.1で、「上昇」超となっている。売上高(10.5)は「上昇」超だが、経常利益(-5.3)は「下降」超となっている。
- 原材料等の仕入れ価格(31.6)が「上昇」超の見通しとなっている。従業員数(52.6)も「不足気味」超が続くとの見通しとなっている。
- ただ、県内需要(5.3)、県外需要(10.5)、海外需要(31.6)ともに「上昇」超との見通しとなっている。



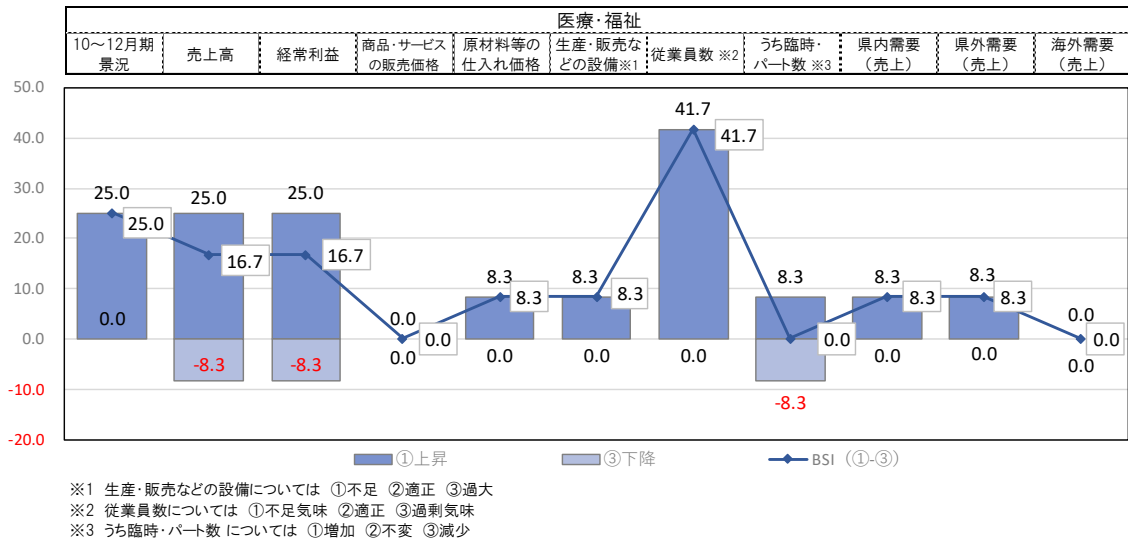
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 医療・福祉

- 7-9月期の景況は8.3で、「上昇」超となっている。売上高(25.0)、経常利益(16.7)ともに「上昇」超となっている。
- 従業員数(41.7)は大きく「不足気味」超となっている。



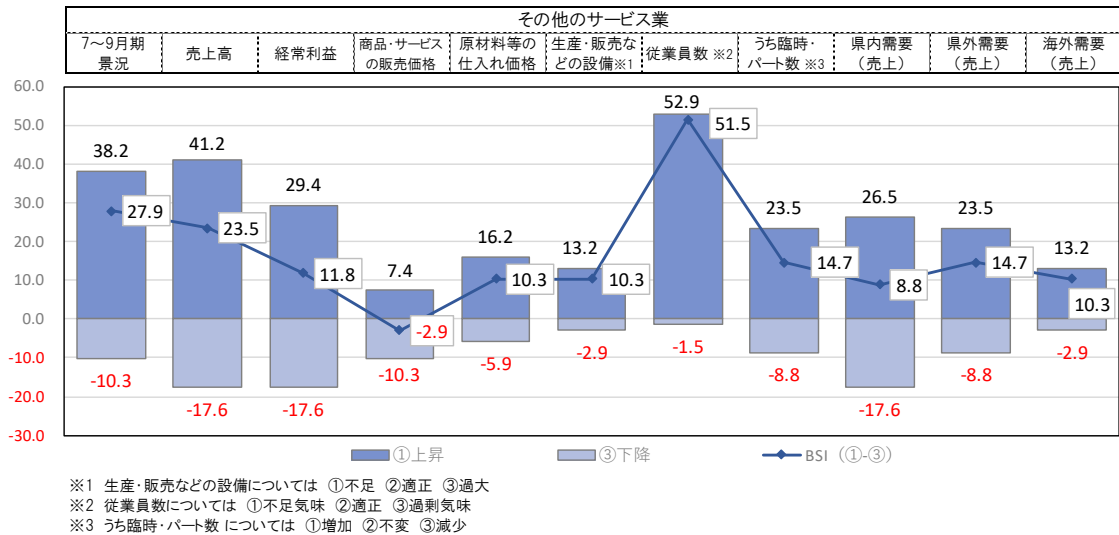
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 医療・福祉

- 10-12月期の景況見通しは25.0で、「上昇」超となっている。
- 売上高(16.7)、経常利益(16.7)ともに「上昇」超の見通しである。一方、従業員数(41.7)は大幅な「不足気味」超の見通しとなっている。



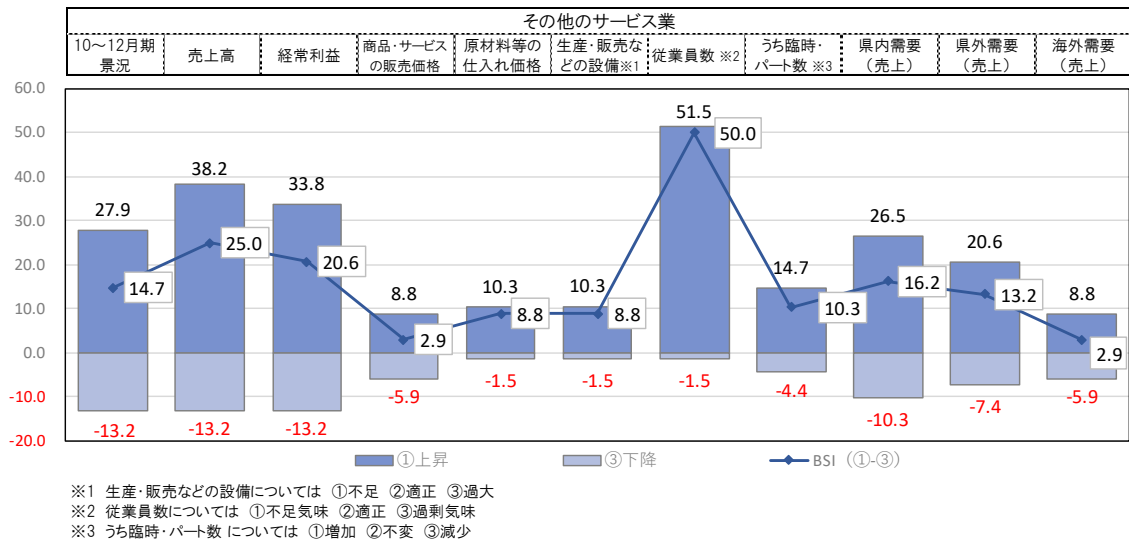
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) その他のサービス業

- 7-9月期の景況は27.9で、「上昇」超となっている。売上高(23.5)、経常利益(11.8)はそれぞれ「上昇」超となっている。
- 一方、原材料等の仕入れ価格(10.3)も「上昇」超、従業員数(51.5)は「不足気味」超が大きく上回っている。
- 県内需要(8.8)、県外需要(14.7)、海外需要(10.3)ともに「上昇」超となっている。



■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) その他のサービス業

- 10-12月期の景況見通しは14.7で「上昇」超となっている。売上高(25.0)、経常利益(20.6)もそれぞれ「上昇」超の見通しとなっている。
- 従業員数(50.0)は大幅な「不足気味」超の見通しとなっている。
- 県内需要(16.2)、県外需要(13.2)、海外需要(2.9)ともに「上昇」超の見通しとなっている。





■ 業種別・項目別 BSI 一覧表

■建設業BSI

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
景況BSI		-5.4	29.7	18.2	30.3
売上高		5.4	27.0	18.2	51.5
経常利益		0.0	27.0	3.0	36.4
商品・サービスの販売価格		2.7	13.5	0.0	3.0
原材料等の仕入れ価格		32.4	27.0	18.2	15.2
生産・販売などの設備		-2.7	0.0	18.2	12.1
従業員数		45.9	40.5	54.5	60.6
うち臨時・パート		-2.7	-5.4	9.1	3.0
県内需要(売上)		2.7	35.1	21.2	36.4
県外需要(売上)		0.0	10.8	3.0	3.0
海外需要(売上)		0.0	0.0	3.0	0.0

■製造業BSI

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
景況BSI		-7.7	23.1	2.7	29.7
売上高		-3.8	30.8	5.4	21.6
経常利益		3.8	34.6	-2.7	13.5
商品・サービスの販売価格		7.7	-3.8	5.4	16.2
原材料等の仕入れ価格		15.4	7.7	0.0	-2.7
生産・販売などの設備		-19.2	-3.8	5.4	2.7
従業員数		3.8	19.2	24.3	24.3
うち臨時・パート		7.7	-3.8	0.0	0.0
県内需要(売上)		-11.5	19.2	0.0	21.6
県外需要(売上)		0.0	11.5	0.0	21.6
海外需要(売上)		7.7	7.7	-5.4	2.7

■情報通信業BSI

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
景況BSI		-5.9	11.8	28.6	35.7
売上高		-35.3	11.8	35.7	42.9
経常利益		-35.3	5.9	28.6	21.4
商品・サービスの販売価格		0.0	0.0	0.0	7.1
原材料等の仕入れ価格		0.0	0.0	14.3	7.1
生産・販売などの設備		5.9	11.8	-7.1	-7.1
従業員数		52.9	64.7	64.3	57.1
うち臨時・パート		11.8	5.9	0.0	0.0
県内需要(売上)		-5.9	0.0	0.0	21.4
県外需要(売上)		-17.6	11.8	35.7	35.7
海外需要(売上)		0.0	5.9	7.1	7.1

■卸売・小売業BSI

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
景況BSI		-23.6	5.6	22.2	12.7
売上高		-9.7	9.7	33.3	17.5
経常利益		-13.9	0.0	27.0	12.7
商品・サービスの販売価格		8.3	9.7	1.6	12.7
原材料等の仕入れ価格		27.8	23.6	1.6	12.7
生産・販売などの設備		6.9	12.5	11.1	11.1
従業員数		29.2	31.9	49.2	34.9
うち臨時・パート		-4.2	2.8	9.5	9.5
県内需要(売上)		-12.5	5.6	31.7	20.6
県外需要(売上)		-5.6	6.9	19.0	3.2
海外需要(売上)		0.0	1.4	6.3	0.0

■不動産業等BSI

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
景況BSI		26.7	6.7	12.5	-4.2
売上高		26.7	6.7	16.7	4.2
経常利益		20.0	3.3	20.8	4.2
商品・サービスの販売価格		0.0	6.7	16.7	4.2
原材料等の仕入れ価格		10.0	6.7	25.0	4.2
生産・販売などの設備		6.7	16.7	16.7	4.2
従業員数		13.3	13.3	20.8	20.8
うち臨時・パート		6.7	3.3	12.5	0.0
県内需要(売上)		16.7	10.0	16.7	8.3
県外需要(売上)		16.7	16.7	12.5	-4.2
海外需要(売上)		6.7	0.0	8.3	0.0

■旅行・宿泊業BSI

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
景況BSI		-3.0	42.4	53.3	6.7
売上高		-9.1	42.4	53.3	-10.0
経常利益		-24.2	33.3	56.7	-3.3
商品・サービスの販売価格		3.0	27.3	30.0	-6.7
原材料等の仕入れ価格		18.2	30.3	43.3	33.3
生産・販売などの設備		9.1	15.2	10.0	3.3
従業員数		48.5	39.4	66.7	66.7
うち臨時・パート		-3.0	9.1	16.7	-10.0
県内需要(売上)		-9.1	12.1	13.3	3.3
県外需要(売上)		-18.2	33.3	30.0	20.0
海外需要(売上)		6.1	27.3	43.3	10.0

■飲食サービス業BSI

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
景況BSI		-4.0	40.0	26.3	21.1
売上高		-8.0	40.0	42.1	10.5
経常利益		4.0	32.0	26.3	-5.3
商品・サービスの販売価格		0.0	12.0	21.1	10.5
原材料等の仕入れ価格		16.0	24.0	57.9	31.6
生産・販売などの設備		8.0	4.0	5.3	5.3
従業員数		60.0	52.0	68.4	52.6
うち臨時・パート		-12.0	16.0	0.0	-5.3
県内需要(売上)		0.0	20.0	21.1	5.3
県外需要(売上)		-4.0	28.0	42.1	10.5
海外需要(売上)		16.0	28.0	57.9	31.6

■医療・福祉BSI

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
景況BSI		4.3	0.0	8.3	25.0
売上高		-8.7	8.7	25.0	16.7
経常利益		-13.0	0.0	16.7	16.7
商品・サービスの販売価格		-4.3	0.0	0.0	0.0
原材料等の仕入れ価格		4.3	4.3	8.3	8.3
生産・販売などの設備		0.0	0.0	8.3	8.3
従業員数		26.1	30.4	41.7	41.7
うち臨時・パート		4.3	13.0	8.3	0.0
県内需要(売上)		4.3	0.0	25.0	8.3
県外需要(売上)		4.3	0.0	0.0	8.3
海外需要(売上)		0.0	0.0	0.0	0.0

■その他のサービス業BSI

	時期	2016年			
		4-6月期	7-9月期		10-12月期
		前回調査実績	前回調査見通し	今回調査実績	今回見通し
景況BSI		7.1	22.9	27.9	14.7
売上高		1.4	25.7	23.5	25.0
経常利益		2.9	20.0	11.8	20.6
商品・サービスの販売価格		8.6	8.6	-2.9	2.9
原材料等の仕入れ価格		18.6	12.9	10.3	8.8
生産・販売などの設備		14.3	11.4	10.3	8.8
従業員数		35.7	41.4	51.5	50.0
うち臨時・パート		2.9	11.4	14.7	10.3
県内需要(売上)		4.3	15.7	8.8	16.2
県外需要(売上)		12.9	14.3	14.7	13.2
海外需要(売上)		5.7	8.6	10.3	2.9

## 2 各業界別総評

県内の業界別等の概要は以下のとおりである。

### 観光関連 [ 観光関連は好調、海外市場はターゲットにより明暗が分かれる ]

観光関連は、8月の入域観光客数が単月過去最高の92万6900人を記録するなど、観光客増加を背景に好調に推移している。観光関連(旅行・宿泊業)の7-9月期における景況判断BSIは53.3で高水準となっている。業界の活況に伴い、人手不足の問題も挙がっている。

観光客が増加していることから、全体的に調子が良い。旅行会社や宿泊施設では当初、予約の出足の遅さが懸念されていたが、料金調整による集客の奏功や、台風によるキャンセル発生がほとんどみられなかったことなどで好業績となっている。レンタカーも個人客の増加により高稼働で、ダイビングショップも好天が続いたことでツアー催行率が高かった。

外国客においては、団体旅行に対するニーズが減少し、個人旅行へ振れている状況があるとみられ、外国団体を手配する旅行会社やバス会社で業績低下がみられる。対して個人客を対象とするレンタカーやマリナクティビティでは、外国客への売上も好調である。

また、FITにおいては、旅行会社を介さず、個人でLCCと宿泊施設、レンタカーを予約するケースが増加しているとみられ、外国個人向けのホテルパックなどの商品が売れにくい状況もあるようだ。

今後の見通しについて、来期(10-12月期)の景況判断は6.7となっており、引き続き好況が継続するとみられる。

### 建設・不動産関連 [ 官需、民需ともに好調が持続している ]

建設関連は官需、民需ともに好調が持続している。建設業の7-9月期の企業の景況判断BSIは4-6月期のマイナスからプラスに転じた。売り上げや利益などの上昇は続いているものの、従業員数が不足気味と感じている事業者は多く、人手不足の状況が続いている。

民需では、マンション販売で新築・中古ともに依然、好調な状況が続いている。特に、中古物件は立地条件次第では築10年でも販売当時の金額で売買されるケースも有る。今後さらに、物件価格が上昇すると考える消費者も少なくなく、そのような消費者は中古でも条件が良ければ「今が買い時」と考え、購入するケースもあるようだ。好調な状況を危惧する意見もあるが、当面はこの状況が続くと見る意見が多い。

不動産関連事業者の今期の景況判断BSIもプラスであった。アパートの建設需要が高いだけでなく、一部の事業者では投資物件としてアパートを活発に売買しているケースも見られる。不動産売買では、不動産コンサルタントを活用することで土地を売買する以外の活用法が広まりつつ有り、一般の個人が収益物件を建設する事例も多くなってきた。また、中古不動産を住居や収益物件にリノベートする設計事務所の需要も増えており、不動産売買における新しい動きが出始めてきた。

来期(7-9月期)の景況判断見通しは建設業がプラス、不動産業がマイナスとなっている。沖縄の不動産市場を目当てに本土事業者の参入が続いていることから、本土事業者による市場の奪い合い懸念をしているようだ。

## 食品・消費・サービス関連 [ 個人消費は外国人観光客を中心に支えられ堅調 ]

卸売・小売業、飲食サービス業、その他のサービス業など県内主要なサービス業の7-9月期の企業の景況判断 BSI はすべての業種でプラスとなっている。外国人観光客等の海外需要を中心に県内客、県外客の需要も好調に推移した。特に飲食サービス業においては多くの事業所において、外国人観光客の恩恵を受けている。また、特に中小規模の事業所においては、大手企業との安売り競争をさげ、ターゲットを絞った高付加価値の商品を販売することで、収益の確保に結びつける事業者が多くなってきている。自社の強みを把握した上で、いかに付加価値の高い魅力的な商品・サービスを提供できるかどうか、今後の事業所の売上確保に向けてカギとなりそうだ。

卸売・小売業、飲食サービス業だけでなく情報通信業、医療・福祉関連なども含めたサービス業全般において人手不足を感じる事業所が多くなっており、今後の安定的な事業経営に向けては人材確保が重要なポイントとなっている。人材確保に向け、給与のアップ、正社員化等、事業者ごとに各種取組が見られる。さらに、オートメーション化を進めることで労働生産性の向上を図る事業者も出てきており、多くの事業者において人手不足に対応した取り組みを強化しつつある。

来期(10-12月期)の見通しとしては、各業種とも県内、県外、海外からの需要も増加すると見ており、景況判断 BSI はプラスとなっている。ただ、人材不足、原材料価格等の増加は今後の各事業所の景況にも影響を与えるとみられ注視する必要がある。

なお、今回の調査においては宮古島地域の景況状況の把握を行った。宮古島地域の景況状況は以下の通りである。

## 宮古島地域景況 [ 観光関連を中心に好調、当面も好調が続くとみられる ]

宮古島地域は、伊良部大橋の開通やクルーズ船の寄港回数的大幅増の影響もあり入域観光客数が大幅に増加したことで、観光関連産業を中心に好調となっている。入域観光客数は2015年度の約51万人から2016年年度は72万人と過去最高を見込んでいる。

クルーズ船の寄港回数的大幅増だけでなく、宮古-関西直行便の再開、宮古-羽田直行便の就航などによる提供座席数の増加も入域観光客数の増加につながっている。グレードを問わず多くの宿泊施設が今夏は高い稼働率を維持しているが、伊良部大橋の開通などに伴うプロモーション効果もあり当面、観光客数は好調に推移するとみられる。インバウンド客の受け入れ体制の強化が、観光産業がさらに飛躍する上で課題であろう。

また、下地島空港の利活用の行方についての関心も高かった。利活用方針が固まれば、周辺の各種開発もスタートするのではとの期待もあり、実際、方針が決まれば今後の宮古島観光のさらなるレベルアップにも繋がると考えられる。

建設関連においても公共工事や宿泊施設の新設、改築工事などに支えられ好調となっている。各種公共工事だけでなく、アパート関連やホテルなど民間部門からの発注も予想されており、当面は堅調に推移するとみられる。

飲食サービス、小売業など各種サービス関連は旺盛な観光客需要に支えられ好調となっている。ただ、すべての業種に関連しているが、人手不足が深刻化している。若年層の多くが沖縄本島や県外に出てしまい、もともと若年層が少ない上、県外大手企業の参入により時給の引き上げが起こった

ため、各事業者とも人材の確保に苦慮しているようだ。人材確保に向けた企業における各種取組の推進の差が、今後の事業者間の業況に影響をあたえる可能性も考えられる。

以 上

—— 本資料のご利用に際して ——

- ・ 本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。著作権法の定めに従い、引用する際には、必ず出所・株式会社海邦総研と明記してください。
- ・ 本資料は、弊社 HP (<http://www.kaiho-ri.jp/>) においても公表しております。
- ・ 本調査に関する問い合わせは、弊社・地域経済調査部・島田までご連絡ください。

TEL: 098-869-8703 E-mail: shotoku\_shimada@kaiho-ri.jp